

第1回 J.S.バッハギターコンクールレポート

6月27日(日)にミレニアムホールにて第1回 J.S.バッハギターコンクールが開催されました。このコンクールはドイツで行われている国際ギターコンクールJ. S. バッハとの提携開催で、5月25日のテープ審査に合格した21人がエントリーされました。審査員は今回は鈴木巖(審査委員長)、津田昭治、林徹也(ドイツバッハゾリスTEN、シツット ガルト室内オケのそれぞれの首席ヴィオラ奏者、昨年日本に帰国。)そして筆者の加藤政幸 の4名。予定されていたイタリアからの教授 は急病で今年は欠席となった。

2次予選は午前11時から15時半まで行われ15時50分に次の6人の本選出場者が発表された。名前と予選(8分内)、本選(12分内)の自由曲は次のとおりです。

Quan Zong Hui 権宗暉氏(2次予選)M. トロバ ソナチネ1楽章(本選)K. メルツ ハンガリー幻想曲。Du Chun Yang 春陽氏(2次予選)K. メルツ ハンガリー幻想曲(本選)L.ブロウエル ソナタ。小林荘友氏(2次予選)R. ディアンス サウダージ3番(本選)J. トウリーナ ソナタ。笹久保伸氏(2次予選)A. カルレバール 南アメリカ前奏曲3番5番(本選)N. ダンジェロ 2つのリディア調の歌。岩木俊宏氏(2次予選)R. ディアンス サウダージ3番(本選)J. S. バッハ フーガ、アレグロ BWV998。西田武史氏(2次予選)N. パガニーニ カプリス第24番(本選)M. リョベート スケルツォ ワルツ、C. R.リベラ 舞踏の旋回。

惜しくも本選に漏れた7位から12位に相当する6名に選ばれたのは呉 熙 WU XI 氏(A. バリオス 大聖堂)、張徳潤 ZHANG DERUN 氏(A. バリオス 大聖堂)、川島洋介氏(M. ジュリアーニ 大序曲)、村上尚代氏(F. ソル マルボローの主題による変奏曲)、山口直樹氏(F. ソル 魔笛の主題による変奏曲)、張博華 ZHANG BOHUA 氏(K. ハンガリー幻想曲)の6名で準本選という形で本選自由曲の演奏がされた。審査結果は川島洋介氏に金賞、張徳潤 ZHANG DERUN 氏に銀賞、呉 熙 WU XI 氏と村上尚代氏がそれぞれ銅賞を獲得された。

今回は中国から6人の音大生(武漢大学、北京大学)が参加し 武漢大学ギター科教授銭政賢氏も来日されこのコンクールを聴講された。この7位から12位相当の演奏後に本選が行われ、審査結果は次のとおりとなった。今回は審査

員一致で1位なしの2位が西田武史氏と Du Chun Yang 春陽氏の2名、3位が小林荘友氏と笹久保伸氏の2名に与えられた。

19時半より審査結果発表の際、鈴木巖審査委員長より、参加者への講評があった。授与式ではそれぞれ賞金の他全員にハナバツハとサバレス絃、やネイルセット等が贈られた。今回の特別賞賞品の最高級ギターは2位首位の西田武史氏に韓国から当日会場に駆け付けた Guak Brahman 氏より受賞者に贈られた。

また本選審査中に掛布雅弥氏のゲスト演奏があり大変な好評がえられました。プログラムはH. V. ロボスのショティツシュ ショーロ、I. アルベニスアストゥーリアス、J. マラッツ スペイン セレナーデ、J. S.バツハ ブレー、ジーク(リュート組曲1番より)。

来年2011年に予定されております**第2回 J.S.バツハギターコンクール**の課題曲は1次予選 J.S.バツハ サラバンド (リュート組曲3番)BWV995、本選課題曲は同じくJ.S.バツハ リュートの為の前奏曲 BWV999です。

コンクールに関する情報は下記のインターネットアドレスでもご覧になれます。

加藤政幸